令和5年度那須中央中学校避難所設営体験実施要領

- 1. 体験目的:避難所設営及び運営を体験することによって、人と協力し、力を合わせることの大切さを知るとともに、災害時に積極的に行動できるようになることを目的とする。
- 2. 実施日時:令和5年11月20日(月)13:45~

3. 実施場所:那須町スポーツセンターアリーナ

4. 実施主体:那須中央中学校2学年生徒 約80名

自主防災組織○○組織(○○名)

防災士〇〇名

※自主防災組織と防災士 は、計30名程度予定

5. 協 力:那須町役場職員20名、社会福祉協議会職員2名

6. 観 覧 者:自治会役員○○名

※申し込み数により増減あり

7. 実施内容:

1部【避難誘導及び避難行動】13:45(25分)

- ① 那須町役場より那須中央中学校へ、地震発生に伴う避難指示を防災行政無線で呼び掛ける。(放送内容は別紙1参照)
- ② 那須中央中学校にある個別受信機からの避難指示情報により教職員は、生徒の避難誘導を開始する。(上履きをあらかじめ準備しておくこと。)
- ③ 生徒の安全を確認し、避難所であるスポーツセンターへ徒歩で移動する。 (雨天時は、スクールバスで移動)
- ④ スポーツセンター到着後靴をビニール袋へ入れ、下記書類とペグシルを受け取る。

│※書類:避難所ルール説明書(別紙 2) 健康チェックシート(別紙 4)

⑤ 検温した際の体温と氏名を健康チェックシートへ記入する。

2部【避難所設営】14:10(50分)

- 1. 避難所設営に関する説明(10分) 避難所設営に必要な設備や体制、マナーなどの説明を受ける。
- 2. 避難所設営体験(40分)

1クラス2班(1班12名程度)に分かれ割り当てられたエリア内にパーティションなどを設置する。(配置図は別紙5参照)

自主防災組織及び防災士も、2 班編成で活動を行う。

- ①段ボールパーティション設置: 1×8 班+1(見本)=9箇所
- ②段ボールベッド設置:1×8 班+1(見本)=9 箇所
- ③ワンタッチパーティション設置: 2×8 班+1 (見本) = 17 箇所
- ④ ワンタッチパーティション屋根設置: 1×8 班+1(見本)=9 箇所
- ④エアーマット設置:1×8 班+1(見本)=9 箇所
- ⑤災害用トイレ設置:簡易テント式1×6班+1(見本)=7箇所

プラダントイレ 1×2 班+ 1 (見本) = 3 箇所

⑥サバイバルシート:2×8 班+1 (見本) 17 箇所

※役場避難部職員を各班に2名配置し設置指導に当たる。

3部【避難所運営】15:00(20分/説明5分、1クラス5分程度)

- 1クラスごと二人一組で役を入れ替え、避難者と受入の体験をする。
 - ① 避難者役 避難所に避難してきた住民としてや健康管理チェックシートを簡単に記入する。
 - ② 受入役

避難者を受け入れる避難所管理者として避難者カードや健康チェックシートを受け取る。(クリップボードから外す)

那須高原の水とえいようかんを一緒にビニール袋に入れ避難者役へ渡す。

【講評】15:20(5分程度)

【片付け】15:25 (20分)

班ごとに片付けを行う。

終了(15:45)

終了後、スクールバスで学校へ戻る。

※スクールバスが 16:20 に学校へ戻る必要があるため、16:00 には完全撤収。

8. 準備品

【共通】

- ① マイク2本
- ② マスク20枚
- ③ 体温計6個
- ④ ビニール袋 120 枚

【避難所設営体験】

- ① 段ボールパーティション×9
- ② 段ボールベッド×9
- ③ ワンタッチパーティション×17
- ④ パーティション屋根×9
- ⑤ 簡易テント式トイレ×7
- ⑥ プラダントイレ×3

- ⑤ 手指消毒液 20 本
- ⑥ ビブス 20 枚
- ⑦ IP 無線 2 台
- (7) エアーマット×9
 - ⑧ トイレ処理袋×9
 - ⑨ サバイバルシート×9
 - ⑩ 蓄電池×1 (見本のみ)
 - ① 投光器×1 (見本のみ)

【避難者受入体験】

- ① 長机8台
- ② クリップボード 120 枚
- ③ ペグシル 120 本
- ④ 那須高原の水 150 本
- ⑤ えいようかん 26 箱 (5 本/箱)
- ⑥ 避難者カード 120 枚
- ⑦ 健康チェックシート 120 枚
- ⑧ 避難所ルール説明書 120 枚
- ⑨ 受付張り紙8枚